

居場所ラリーのアンケート調査分析報告書

—平成 29 年度兵庫県立大学特色化戦略推進事業報告書—



兵庫県立大学 政策科学研究所 NPO 研究連携センター
認定 NPO 法人 コミュニティ・サポートセンター神戸

目次

I. はじめに

II. 認定 NPO 法人コミュニティ・サポートセンター神戸の活動に見る居場所づくりと居場所ラリーというイベントの意義

III. 居場所ラリー概要

1. 居場所ラリーの目的・趣旨
2. 居場所ラリーの実施内容

IV. 居場所ラリーアンケート調査結果

1. アンケート調査の目的
2. 居場所ラリーの参加者向けアンケート結果
3. 居場所ラリーの参加者の行動パターン分析
4. 居場所ラリーの受け入れ団体について
5. 居場所ラリーの受け入れ団体向けアンケート結果
6. 居場所ラリーの受け入れ団体の満足度調査：ネットプロモーター調査
7. 居場所ラリーの成果と課題

V. 居場所ラリーの今後の方向性について

VI. 執筆者一覧

VII. 居場所ラリー資料

1. 居場所ラリーのパンフレット
2. アンケート調査票

I. はじめに

本報告書は、2017年10月1日から11月30日の2ヶ月にわたって、神戸市内の2つの区、東灘区と灘区で行われた居場所ラリーに参加した個人と居場所の運営団体へのアンケート調査データに基づいたものである。

1995年に起こった阪神・淡路大震災以後、地域の居場所の重要性が盛んに議論され、また実際に多くの居場所が地域で立ち上がっている。

阪神・淡路大震災は、都市直下型の大地震として、神戸市に大きな打撃を与えた。震災後の都市計画も影響して、地域のつながりも希薄になり、独居高齢者の孤独死も増加した。また、80年代後半から90年代にかけてのバブル経済が崩壊し、日本経済は失われた20年といわれるような経済の低迷に直面した。その中で、経済格差・所得格差が進行し、個人の分断と生活保護を受ける社会的弱者も増加した。

このような震災後のコミュニティの希薄化や経済格差の進行、社会的弱者の増加といった環境変化は、少子高齢化社会という状況ともあいまって、地域における居場所の重要性を高めている。それは、認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸が作成した居場所BigMapデータ集Vol.2にも反映されている。それによれば、今回居場所ラリーが行われた東灘区、灘区の2つの区には、民間団体が運営する居場所が61ヶ所（東灘区41ヶ所、灘区20ヶ所）、地域福祉センターなど、行政から支援を受けて設立された居場所が28ヶ所（東灘区16ヶ所、灘区12ヶ所）存在し、民間団体が運営する居場所の数は増加していることを示している（認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸編『第2回『居場所』サミット in 神戸 BigMap データ集 Vol.2』,2017年）。

このように、地域での居場所の重要性が高まっている中で、その居場所の存在を多くの人に知ってもらうことと、居場所間の交流を促進することを目的に、認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸が主催し、ネスレ日本株式会社と兵庫県立大学政策科学研究所NPO研究連携センターが協力、神戸市の後援を受けて、今回の居場所ラリーが実験的に行われた。ラリーには、東灘区と灘区で居場所を運営している26団体が参加し、約200名近くの参加者が、地域の居場所を訪問し交流を深めた。この居場所ラリーの成果であるアンケートデータを分析したのが、本報告書に他ならない。

兵庫県立大学政策科学研究所では、2016年4月から所内にNPO研究連携センターを設置し、地域課題を解決し、よりよい地域づくりを目指すNPO法人や地域団体と連携・協力して、地域課題解決のための調査・データの分析、組織的・経営的助言などを行っている。今後も、このような形で、地域で活動するNPO法人や団体と連携して、より良い地域づくりの一助になるよう努力・貢献していきたい。

兵庫県立大学 政策科学研究所
所長 當間克雄

Ⅱ. 認定 NPO 法人コミュニティ・サポートセンター神戸（CS 神戸）の活動に見る居場所づくりと居場所ラリーというイベントの意義

1. 居場所の取り組み経過：阪神・淡路大震災での取り組み（1995 年～）

居場所の重要性と有効性を教えられたのは、都市型災害として始めて経験した阪神・淡路大震災である。ずたずたに断ち切られた関係性を回復するには、互いに顔を会わせ、現状の困難や苦勞を語り合うことが最も求められた。被災の強弱を超えて、市民が相互に、慰めいたわり支え合う取り組みであり、明日への生きる支えや希望を抱く気持ちにつながる、それがいわゆる居場所である。

仮設住宅では「茶話やかテント」、一般住宅地区ではクリニックの休診時間を利用した「茶話やかサロン」と銘打って、東灘区内だけでも 40 箇所にものぼる居場所を展開してきた。この取組みで培われた人と人の関係づくり、呼びかけ、プログラム、開催方法、担い手研修、地域の各種団体や行政ネットワークの組み方、資金調達等のノウハウは、関った個人や団体の中に脈々と息づき、今日の居場所につながる系譜を成していることがわかる。つまり、現在にいたるさまざまな形の居場所の DNA はあの時に喚起されたとも言ってよいのではないかと。以下では、その流れを追ってみることにする。

2. ネットワークでいきがい対応型デイサービス事業を受託（1999 年～）

2000 年からの介護保険制度導入を前に、介護認定までには至らないが籠りがちな高齢者に出かけられる居場所を提供する目的で、NPO15 団体とミニデイサービスを実施した。すべて震災からさまざまな復興活動に取り組んだグループや団体である。また併行して、すべての団体は 1998 年から施行された NPO 法人格を取得し、神戸市から「いきがい対応型デイサービス事業」を直接委託される環境を整え、団体の基盤構築につなげていった。

これらの団体の多くは、現在も同様事業を継続しており、更に制度外では独自性に富んだ居場所も展開している。CS 神戸にとっては、導入部でのサポートやネットワーク形成や事務局のあり方を学び、公的な居場所として「いきがい対応型デイサービス事業」の創出を担い、中間支援の役割を自覚する貴重な機会であった。

3. 神戸居場所研究会で市民へ啓発（2007 年～）

神戸市内小学校区ごとに「いきがい対応型デイサービス事業」の公的な居場所が順次立ち上がっていくが、虚弱な高齢者対応の施策ゆえ、本来目指していた“誰もが気軽に立ち寄れて、スキルや経験を活かせる場”、つまり共生型で包摂的な機能が発揮できない弱点があった。そこで研究会を持ち、「居場所コーディネーター養成研修」等で、新たな運営者と担い手養成に努め、それらは現在にまで至っている。

また 2011 年には、共生かつ包括的な運営を期待した東灘助け合いネットワーク・東灘こどもカフェ・灘つどいの家の 3 団体に、CS 神戸 15 周年記念の一環も兼ねて、各 100 万円の総額 300 万円の特別助成を実施した。結果、試行錯誤しながらも共生・包摂のモデルがみえ、居場所のステップアップが明らかになってきた。

4. 「第1回居場所サミット in 神戸」の開催で、居場所の見える化と活性化（2016年～）

一方、急激な高齢少子化の変化を受け、コミュニティは急速に希薄化し、経済的格差の侵攻は人のつながりを阻み、地域社会にも影を落とし始めた。コープこうべや神戸いきいき勤労財団等多くの非営利中間支援も同様の危機感を募らせ、各所で居場所を展開する試みがあった。どこで誰がどのような居場所を開催しているのか、まとまった情報もあれば市民が助かるし、成果や課題を共有することで更に良い居場所運営にもつながるのではないか。早速6団体に呼びかけ「第1回居場所サミット in 神戸」を企画し、そこで得られた情報のデータ化に取り組むこととした。「居場所サミット in 神戸 BigMap データ集」も刊行でき、神戸市内274箇所の居場所をデータ化することができた。

続く2017年にも「第2回居場所サミット in 神戸」を開催し、昨年同様200名を超す参加者が一堂に会し、現状認識、課題共有をはかり、次につながる居場所ネットワークを構築することができた。そして「BigMap データ集 No.2」も刊行し、前回作成したデータ集 No.1を42箇所上回る316箇所の情報を集約することができた。

5. 居場所ラリーで相互の活性化（2017年～）

ここまで展開が進んでも、居場所運営には課題が尽きない。人間関係の数だけ喜びと問題が交差するところが居場所であるから、宿命と位置づけざるを得ない。居場所に決して完成型はない。利用者の拡大や固定化、プログラムのマンネリ化、運営経費の確保、場所の問題、地域団体との協働、行政との関係づくり等々、運営責任者のモチベーションが保たれるには様々な工夫が継続して要求される。

そこで、まずはできることから、東灘区と灘区の近隣2区の26箇所で「秋の居場所めぐりラリー」を実施した。利用者の拡大や固定化の改善、他者からの見習い、活性化を目的としたもので、その結果は後述にゆだねるが、さらに次の取り組むべき課題が見えてきている。

人が人を支え合うDNAがある限り、アセスメント（A）、プラン（P）、ドゥ（D）、チェック（C）のマネジメントサイクルを根気強く回し続ける中で、その地域や時代に相応しい居場所が変化しながら創出されていくことを、改めて再認識したい。

Ⅲ. 居場所ラリー概要

主催	認定 NPO 法人コミュニティ・サポートセンター神戸
協力	ネスレ日本株式会社 兵庫県立大学政策科学研究所 NPO 研究連携センター
後援	神戸市
予算	独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業の一環として
実施エリア	東灘区、灘区
実施期間	2017年10月1日～11月30日（2ヶ月間）
協力団体	民間の居場所運営団体、および神戸市介護予防カフェ登録団体 合計 26 団体（内訳）東灘区：14 団体、灘区：12 団体
マップ配付数	約 900 部
マップ配付先	協力団体とその利用者、講座等での参加者、その他関連団体
アンケート協力	ラリー参加者のべ人数：192 名 アンケート回答：ラリー参加者 46 名、協力団体 24 団体

1. 居場所ラリーの目的・趣旨

近年、多様な形態で増えてきている地域の居場所は、これからの社会の課題解決の場としても益々必要不可欠なものとして機能している。しかし、すでによく行く居場所があるという人もいる一方で、十分に地域の居場所が周知されていない、というのも現状である。また、行ってみたいと思っけていても、初めての場所への敷居の高さを感じる人が多いというのもよく聞かれる声だ。今回の「居場所ラリー」は、こうした現状をふまえ、①コミュニティの交流拠点として地域に増えつつある「居場所」の周知、②居場所間の利用者交流、③「居場所ラリー」という手法の実験的運用の3点を目的に試験的实施を試みたものである。

マップに、ラリーというゲーム制を取り入れることで、利用者の動きや居場所間の動きが引き出せることを期待し実施したのが、今回の「居場所ラリー」である。

2. 居場所ラリーの実施内容

対象地域（東灘区、灘区）の居場所を運営する団体に協力を募り、対象地域と協力団体の活動場所と活動内容、活動日時等を記載したラリーマップを作成した。ラリーマップは、各協力団体で利用者を主として配付した。ラリー参加者は、実施期間中に、普段とは異なる居場所を3ヶ所訪問し、訪問した居場所でラリーマップにシールを貼ってもらい、3ヶ所分のシールを集める、というルールでおこなった。最後に、CS神戸の事務所にてアンケートへの回答とともに、参加者には景品をお渡しした。なお、ラリーマップは、当団体のHPでも公開し、どなたでもダウンロード可能とした。



居場所ラリーの楽しみかた 5ヶ条

1. ながめる！
2. でかける！
3. しりあう！
4. めぐる！
5. もらう！



アンケートのご協力まで頂いたラリー参加者には、最後に景品をプレゼント。

左)：後援の神戸市より「クリーナー」

右)：協力のネスレ日本株式会社より「キットカットのど飴味」

①まんまるサロン
 ●毎月3木 12:00~16:00
 ●開催地：アークアール 2F、2F、ゲーム、200円
 ●神戸市東灘区下谷原5-20
 ☎078-271-7850 ① info@arc.or.jp
 ●JR東灘線「下谷原」徒歩5分、JR東灘線「大石」徒歩10分

②お茶処 花たば
 ●毎月1金 10:00~16:00
 ●開催地：食卓(店) コーヒー、紅茶100円、ランチ600円
 ●神戸市東灘区水道筋6-7-14
 ☎078-801-6632
 ●JR東灘線「水道筋」徒歩1分

③お元気カフェほおずき
 ●毎月2・4金 14:00~16:00、3木(第3金) 13:30~16:00
 ●開催地：(第2・4金) 13:30~16:00、(第3木) 14:00~16:00
 ●開催地：お茶の園、お茶の園、お茶の園、お茶の園、お茶の園
 ●神戸市東灘区西宮町5-1-10
 ☎078-801-5503 ① 神戸市東灘区西宮町5-1-10(西宮町5-1-10)
 ●JR東灘線「西宮町5」徒歩5分

④守美の家つどい
 ●毎月1木(休) 14:00~16:00、2木(休) 14:00~16:00
 ●開催地：いづれも 13:30~15:30
 ●開催地：(第1木) 14:00~16:00、(第2木) 14:00~16:00
 ●神戸市東灘区下谷原5-20 7日 13:30~15:30
 ☎078-801-0333(大石)
 ●JR東灘線「大石」徒歩10分

⑤コープ喫茶ろっこう
 ●毎月4金 14:00~15:30
 ●開催地：100円
 ●神戸市東灘区西宮町5-38(コープ六甲3階)
 ☎078-412-7850(コープ六甲) ① 神戸市東灘区西宮町5-38
 ●JR東灘線「西宮町5」徒歩5分

⑥生き活サロン
 ●毎月2・4木 14:00~15:30
 ●開催地：おしべつ / 100円(お茶付)
 ●神戸市東灘区西宮町5-1-23(おしべつ六甲4F)
 ☎078-857-3022 ① kaga@osakebe.com
 ●JR東灘線「西宮町5」徒歩5分

⑦居空間RoCoCo
 ●毎月3金 10:30~15:00 / 金 12:00~15:00
 ●開催地：食卓(店) 100~200円
 ●神戸市東灘区西宮町5-1-10(神戸市東灘区センター)
 ☎070-5346-6550 ① roccoco.kobe@gmail.com
 ●JR東灘線「西宮町5」徒歩5分

⑧ほっとスペース おうご
 ●毎月1木 13:00~15:30
 ●開催地：100円~200円
 ●神戸市東灘区西宮町5-1-23(おしべつ六甲)
 ☎078-857-3022 ① info@osakebe.com
 ●JR東灘線「西宮町5」徒歩5分

⑨シナモン
 ●毎月2月 14:00~15:30 開催地：食卓 100円
 ●神戸市東灘区西宮町4-7-2(コープ六甲3階)
 ☎078-412-7850(コープ六甲) ① 神戸市東灘区西宮町4-7-2
 ●JR東灘線「西宮町5」徒歩5分

⑩喫茶大石さくら会
 ●毎月2月 10:00~12:00(10月)は第1月に臨時大会
 ●開催地：200円
 ●神戸市東灘区大石1-2-1(さくら会) ① さくら会
 ☎090-3621-0929(未定)
 ●JR東灘線「大石」徒歩5分

⑪ふらりカフェ
 ●毎月2月 水・木・金・土 10:00~17:00
 ●開催地：ふらりカフェ、ふらりカフェ、ふらりカフェ
 ●神戸市東灘区西宮町5-1-10(ふらりカフェ)
 ☎078-857-3022 ① info@fura-cafe.jp
 ●JR東灘線「西宮町5」徒歩5分

⑫コミュニティカフェ えがお
 ●毎月2月 10:30~15:30
 ●開催地：その他(お茶) 100円(飲み物+ウェルカム)
 ●神戸市東灘区西宮町4-7-11(えがお) ① えがお
 ☎078-857-5088 ① info@ew-byoda.org
 ●JR東灘線「西宮町5」徒歩5分

⑬ロビー喫茶
 ●毎月17日 13:30~15:30
 ●開催地：100円
 ●神戸市東灘区西宮町5-3-18(生文芸センター内)
 ☎078-412-7850(コープ六甲) ① 神戸市東灘区西宮町5-3-18
 ●JR東灘線「西宮町5」徒歩5分

⑭生き生きウキウキ健康カフェ
 ●毎月2月 14:30~16:00
 ●開催地：健康講座、健康講座、健康講座
 ●神戸市東灘区西宮町4-7-15(15日) ① 健康講座
 ☎078-411-6633(お茶付)
 ●JR東灘線「西宮町5」徒歩5分

⑮ほっぽくらぶ
 ●毎月2月 10:00~16:00
 ●開催地：おしゃべり、200円(飲み物、お菓子付)
 ●神戸市東灘区西宮町4-7-15(ほっぽくらぶ)
 ☎078-451-3358
 ●JR東灘線「西宮町5」徒歩5分

⑯和ははひろば/ふれあいサロン
 ●毎月10日(毎月) 14:00~16:30
 ●開催地：ふれあいサロン(毎月) 13:30~15:00、100円
 ●開催地：ふれあいサロン(毎月) 13:30~15:00、100円
 ●神戸市東灘区西宮町5-10
 ☎078-802-3424(毎月) ① 和ははひろば
 ●JR東灘線「西宮町5」徒歩5分

⑰東灘こどもカフェ(こもれど)
 ●毎月日 10:00~15:00
 ●開催地：おしゃべり、おしゃべり、おしゃべり、おしゃべり、おしゃべり
 ●神戸市東灘区西宮町5-7-14(こもれど)
 ☎090-7701-6393 ① foyou@view.com.jp
 ●JR東灘線「西宮町5」徒歩5分

⑱イチエ会 サロンド・イチエ
 ●毎月3木、第2日 11:00~15:00
 ●開催地：食卓(店)、開催地、その他(お茶)
 ●神戸市東灘区西宮町5-2-3(イチエビル3F)
 ☎090-6734-4408 ① 東灘区西宮町5-2-3
 ●JR東灘線「西宮町5」徒歩5分

⑲かえるの会
 ●毎月14 14:00~15:00
 ●開催地：おしゃべり、おしゃべり、おしゃべり、おしゃべり、おしゃべり
 ●神戸市東灘区西宮町5-2-3(イチエビル3F)
 ☎090-3035-1199 ① 東灘区西宮町5-2-3
 ●JR東灘線「西宮町5」徒歩5分

⑳ついで場コスモス
 ●毎月11 12:00~15:00
 ●開催地：100円
 ●神戸市東灘区西宮町5-2-3(イチエビル3F)
 ☎070-5666-6749
 ●JR東灘線「西宮町5」徒歩5分



6. 生き活サロン



23. 東灘こどもカフェ(こもれど)

IV. 居場所ラリーのアンケート調査結果

1. アンケート調査の目的

前述したように、居場所ラリーは、2017年10月1日から11月30日までの2ヶ月間行われた。その期間中に、①居場所ラリーの参加者個人、②居場所ラリーの参加者を受け入れる居場所運営団体向けの2種類のアンケート調査を行った。以下では、その調査結果を分析・紹介していきたい。

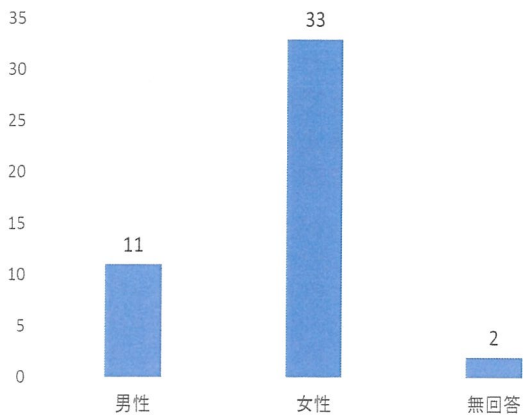
居場所ラリーの参加者個人を対象としたアンケート調査の目的は、①居場所ラリーの参加者個々人の感想や意見を集約することと、②居場所ラリー参加者の行動パターンについて、基礎的情報を収集することにある。居場所ラリーというイベントは全国でも希であり、初めての取り組みとあってよいので、個人向けのアンケート調査では居場所ラリーに参加した率直な感想や意見を尋ねてみた。また、ラリー参加者は3つの居場所を訪問して感想等をアンケートに記入するが、居場所3ヶ所を訪問する場合、どのような行動パターンで訪問しているのか、その基礎データを取ることが、ラリー参加者個人向けのアンケート調査の第2の目的に他ならない。

次に、居場所ラリーの参加者を受け入れる居場所運営団体を対象としたアンケート調査の目的は、ア) 受け入れ団体がラリー参加者を受け入れたことの感想や意見を集約すること、イ) 受け入れ団体の居場所機能について基礎的情報を得ること、ウ) 受け入れ団体が居場所ラリーに参加したことへの満足度を、経営学的手法を使って調査することの3点にある。

以下では、ラリー参加者個人向けアンケート調査から分析結果を論じていくが、この2種類のアンケート調査を通じて、1) 次年度、予定している第2回居場所ラリーの実施に向けて、改善点を集約することと、2) 今後の居場所づくり、居場所の拡大についての基礎的知見を得ることを念頭においている。

2. 居場所ラリー参加者へのアンケート結果

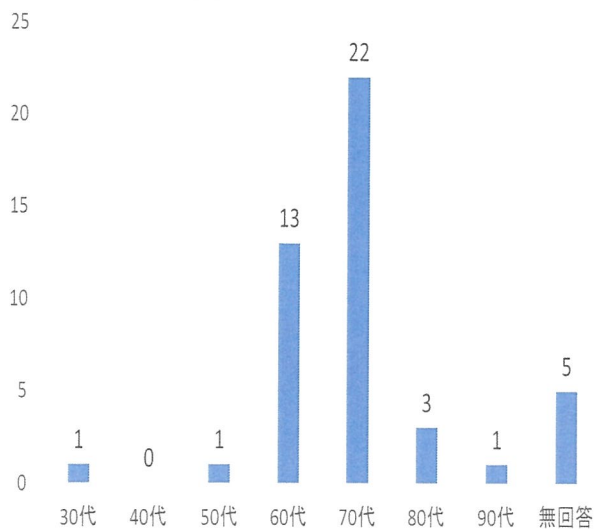
図表 1 男女別参加者数



(1) 参加者の属性

アンケート回答者は 46 名である。図表 1 のように、男性は 11 名、女性は 33 名であった（無回答 2 名）。

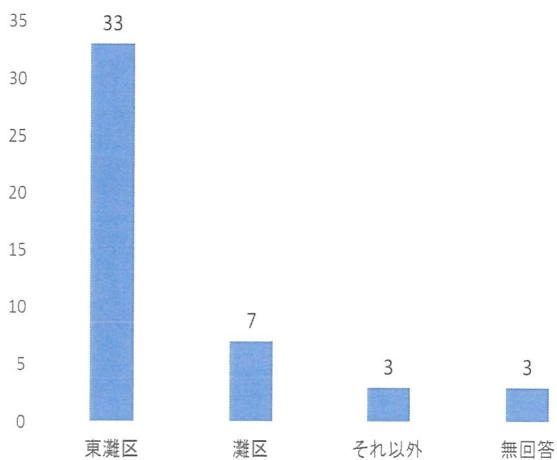
図表 2 参加者の年齢



(2) 参加者の年齢

図表 2 のように、参加者の年齢は 70 歳代が一番多く、次が 60 歳代だった。平均 72.12 歳。最高年齢者は 98 歳だった。

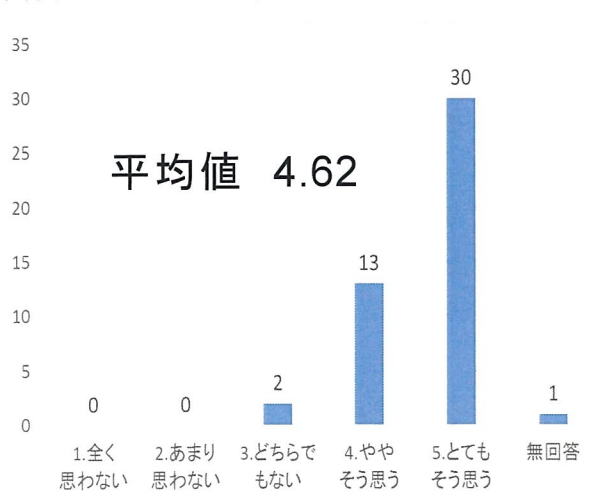
図表 3 参加者の居住地



(3) 参加者の居住地

図表 3 のように、参加者の居住地は、東灘区が多く（33 名）、灘区は 7 名であった。

図表 4 ラリーへ参加してよかったか

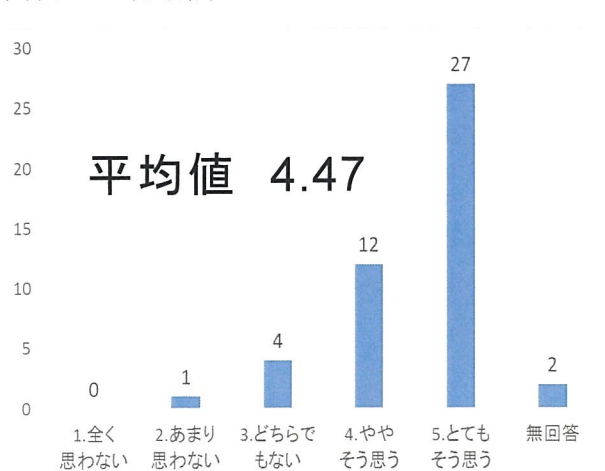


(4) ラリー参加への満足度

「居場所ラリーに参加してよかったですか？」という問いへ、1. 全く思わない、2. あまり思わない、3. どちらでもない、4. ややそう思う、5. とてもそう思う」の5段階で評価を求めた。

その結果、図表4のように、平均4.62という結果になり、参加者は高い満足度を示した。

図表 5 居場所ラリーがまたあったら参加したいか

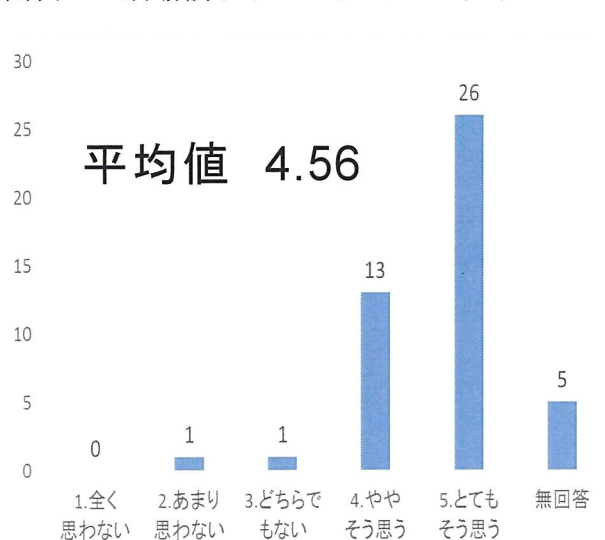


(5) ラリーへの再度の参加意欲

「居場所ラリーがまたあったら、参加したいと思いますか？」という問への回答でも、図表5のように、「また参加したい」と回答するものが多かった。

平均4.47である。

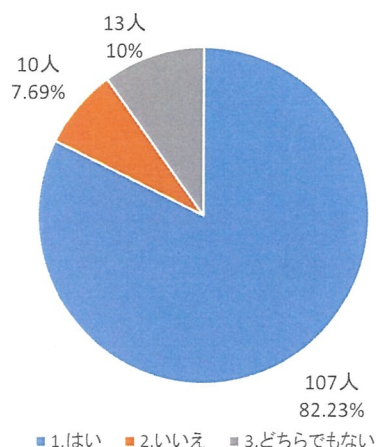
図表 6 居場所ラリーに参加して、学んだことは



(6) 居場所ラリーから学んだこと

図表7のように「居場所ラリーに参加して、学ぶことはありましたか？」への回答についても、平均4.56で、学ぶことが多かったという回答が多かった。

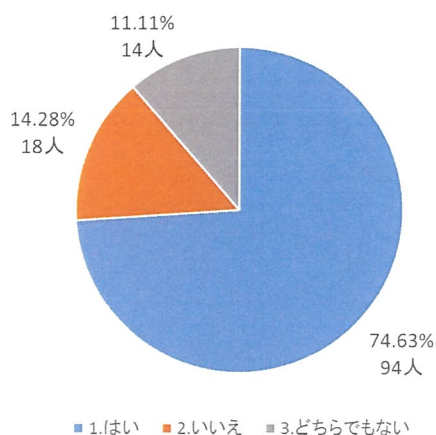
図表 7 新しい人でもすぐ溶け込める雰囲気は



(7) 溶け込める雰囲気

「新しい人でもすぐ溶け込める雰囲気はありましたか？」という質問に、「1. はい」「2. いいえ」「3. どちらでもない」で回答を求めた。訪問した3カ所への回答を合計した結果、図表7のように8割（82.23%）を超える参加者が「はい」と回答している。受け入れ団体には、すぐ溶け込める雰囲気があったと考えられる。

図表 8 いろいろな人と交流や話しができたか



(8) 交流や話しができたか

「いろいろな人と交流や話しができましたか？」という質問に「1. はい」「2. いいえ」「3. どちらでもない」で回答を求めた。訪問した3カ所への回答を合計した結果、図表8のように7割（74.63%）を超える参加者が「はい」と回答した。

受け入れ団体には、新しい参加者で話したり交流したりする雰囲気があったと考えられる。

(9) 自由記述への回答の整理

アンケートでは参加者に対して、居場所ラリーに参加したことへの自由記述での回答を求めた。その結果を整理すると以下のようなになる。

1) 個々の居場所に対する意見・感想として、次のように一番多かったのは「楽しかった」という好意的な感想であった。

- 楽しいお話を聞くことができた。
- 皆さまころよくお迎えくださいました。
- とても参考になり、また会いたいと思う人と会えました。全体が素晴らしい。
- すぐくかんじよくて楽しかったです。
- しらない人とお話をすることができました。
- スタッフさんとても親切。
- 全体の雰囲気が和やかでよかった。

- カフェそのものが雰囲気よし。集まる人よし。企画イベントも楽しそう。
- 新しい発見があった
- とってもリラックスできる場所がありました
- このラリーはとてもよかったです。
- また企画してほしい

2) コミュニケーション、交流が楽しかったという感想もあった。

- 皆和気あいあいとして楽しい雰囲気でした
- いろいろな人と話ができボケ防止になるかも
- いろいろ交流できる
- ボランティア活動に参加されている他の人との交流が大変良かったです

3) いろいろな居場所を知る機会となったという感想もあった。

- 色々なところで様々な活動をされているのを知れた
- ラリーにより色々なところに参加できることに意義を感じる
- 人が集える場所がいろいろなところにあることを知ったのがよかった
- 近くの場所でも知らないところが多いのに気づきました

4) 受け入れ団体への希望・意見としては次のものがあった

- 男性の受け入れ方を考えてほしい
- 三カ所とも女性ばかりで男性の方でも集まりやすい雰囲気作りができないか
- お茶を出してもらったが、女性だけの教室みたいで申し訳なかった
- 開催時間・日数を増やしてほしい
- 月に一度のところが多くもう少し時間がほしかった
- 行ける日や曜日に制限があるところがあるのでなかなか思うように行けませんでした

3. 居場所ラリー参加者の行動パターン分析：参加者の動線調査

(1) はじめに：問題意識・調査目的

居場所ラリーの参加者へのアンケート調査では、参加者が実際に訪問した3ヶ所の居場所とその評価を聞く項目がある。そのデータを活用して、最初に訪問した居場所に黒丸、2番目に訪問した居場所に赤丸、最後に訪問した居場所に青丸というやり方で、ラリー参加者が訪問した居場所を地図に示すと、参加者個人々の行動パターンや動線を分析することができる。このような動線調査を行うことによって、「参加者は居場所ラリーをどのような動線・経路（行動パターン）で動いているか」、また「そこには何か共通するパターンはあるのか」ということを明らかにすることができると我々は考えた。

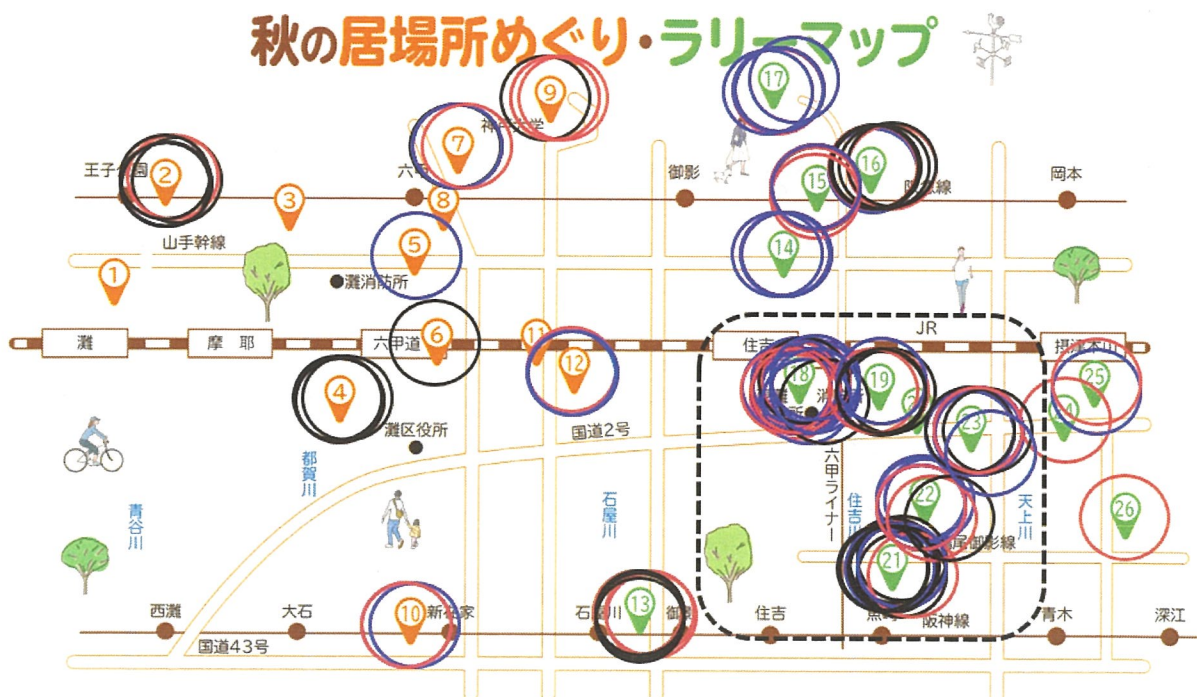
ここで、動線調査を行うに当たって、我々が設定した仮説は、1) 参加者の行動パターンとしては、①東灘区内限定型あるいは灘区内限定型（ご近所訪問型と呼ぼう）と、②東灘区と灘区横断型（遠距離訪問型と呼ぼう）の2パターンに分かれるのではないかと、ということと、2) 居場所ラリーの参加者の年齢が高いため（ラリー参加者の平均年齢は72.12歳）、区内限定型（ご近所訪問型）が圧倒的に多いのではないかとということである。つまり、居場所に行く人々、特に高齢者は、自分の住む家に近い居場所に行く傾向があるのではないかと考えたわけである。

以下では、居場所ラリー参加者で、アンケート票を回収することができた45人分（参加者アンケートの部分では回答者は46名となっているが、そのうちの1名分が欠損値のため45名分のデータとなる）の行動パターンを分析してみよう。

(2) 居場所ラリー参加者の行動パターンの全体像

まずは、居場所ラリー参加者がどのような居場所を訪問しているか、その全体像を見て

図表1 居場所ラリー参加者の行動パターン：全体像



みよう。図表 1 は、居場所ラリー参加者 45 人分の訪問先を示したものである。この図表を概観すると、ラリー参加者は東灘区や灘区に点在する居場所にまんべんなく訪問しているが、特に参加者が多く、集中しているのは、東灘区の JR 沿線の南側（黒の点線で示した区域）のようである。前述したように、ラリー参加者の平均年齢が 72.12 歳のため、我々が設定した仮説どおり、自宅周辺の居場所で行動しているのではないかと推察することができる。

（3）居場所ラリー参加者の 4 つの行動パターン

では、居場所ラリー個人々の行動パターンを見ていこう。図表 2 は、東灘区に在住の 77 歳女性の行動パターンを示したものである。前述したように、ラリー参加者の平均年齢が 72.12 歳なので、この女性は平均年齢に近い人の行動パターンを言えるだろう。図表 2 をみると、この女性の行動パターンは図表 1 の全体像で示したパターンに近い。東灘区に住むため、ラリーでは区内の JR 住吉の南側の居場所を集中的に訪問している。

図表 2 東灘区に住む 77 歳女性の行動パターン



では次に、別の参加者の行動パターンを見てみよう。

図表 3 は、灘区在住の 89 歳女性の行動パターンを示している。彼女は灘区在住で、おそらく普段訪問している阪急電車沿線の灘区の居場所とその近隣の居場所を訪問しているようだ。阪急電車で一駅の区間内での行動のため、これも図表 2 同様、近隣の居場所への訪問パターンを分析することができる。

さらに分析を進めていく。図表 4 は、東灘区在住の 71 歳女性の行動パターンを示している。これも参加者の平均年齢に近い人の行動パターンと言える。この女性は、東灘区の 3 つの居場所を訪問しているが、それらは図表 2 や図表 3 のような近隣訪問型のパターン

図表3 灘区に住む89歳女性の行動パターン



図表4 東灘区在住の71歳女性の行動パターン



ではなく、区内でも広範囲にわたって行動しているパターンと言える。

これに似たパターンは、図表5のような灘区在住の70歳女性の行動パターンである。このパターンは灘区内の範囲ではあるが、図表4と同じように、灘区内に点在する居場所を広範囲にわたって訪問していることが分かる。

さらに違う行動パターンをみてみよう。図表6は、東灘区在住の65歳女性の行動パタ

図表5 灘区在住の70歳女性の行動パターン



図表6 東灘区在住の65歳女性の行動パターン



ーンを示している。このパターンは、灘区と東灘区にある複数の居場所を訪問するタイプであり、しかも広範囲にわたって行動している。また図表7は、東灘区在住の77歳女性の行動パターンであるが、これは灘区と東灘区を横断しているが、直線距離で考えると比較的近距离で行動しているように見える。

図表7 東灘区在住の77歳女性の行動パターン
秋の居場所めぐり・ラリーマップ



以上のように、アンケートに回答した居場所ラリーの参加者45名全員の行動パターンを分析したところ、2つの軸でそのパターン进行分类することができる。まず第1の軸は、「ラリー参加者の訪問範囲」という軸（横軸）で、さらに①東灘区や灘区の区内での訪問なのか、それとも②区横断型の訪問なのかで分类することができる。第2の軸は、「ラリー

図表8 居場所ラリー参加者の4つの行動パターン

ラリー参加者の訪問範囲
 区内 区横断

動線 ご近所 遠距離	区内ご近所 訪問型(17)	区横断ご近所 訪問型(5)
	区内遠距離 訪問型(15)	区横断遠距離 訪問型(8)

一参加者の動線」という軸である。この軸も、①近隣や近所の居場所を訪問するタイプなのか、それとも②遠距離訪問タイプなのかで分類することができる。

この2つの軸をもとに、45名のラリー参加者の行動パターンを示したのが図表8である。この図表に示されるように、ラリー参加者の行動パターンは4つに分類することができる。

まず第1のパターンは、灘区と東灘区の区内にある居場所のなかでも物理的に近接している居場所を訪問する行動パターンであり、「区内ご近所訪問型」と呼びたい。この行動パターンは、4つのパターンの中で最も多く、45名中17名（37.77%）であった。

次に第2のパターンは、灘区と東灘区の区内にある居場所のなかでも比較的離れている居場所を訪問する行動パターンであり、「区内遠距離訪問型」と呼びたい。この行動パターンは2番目に多く、45名中15名（33.33%）であった。

さらに第3のパターンは、灘区と東灘区の両方にある居場所のなかでも物理的に近接している居場所を訪問する行動パターンであり、「区横断ご近所訪問型」と呼びたい。この行動パターンは、4つのパターンの中で最も少なく、45名中5名（11.11%）であった。

最後に第4のパターンは、灘区と東灘区の両方にある居場所のなかでも比較的離れている居場所を訪問する行動パターンであり、「区横断遠距離訪問型」と呼びたい。この行動パターンは45名中8名（17.77%）であった。

（4）行動パターン分析のまとめ

ここで取り組んだ居場所ラリー参加者45名の行動パターン分析は、「参加者は居場所ラリーをどのような動線・経路（行動パターン）で動いているか」、また「そこには何か共通するパターンはあるのか」ということを明らかにすることが目的であった。これまで論じてきたように、ラリー参加者の4つの行動パターンを見出すことによって、この目的を達成することができた。

次に我々は、（1）参加者の行動パターンとしては、①東灘区内限定型あるいは灘区内限定型（ご近所訪問型と呼ぼう）と、②東灘区と灘区横断型（遠距離訪問型と呼ぼう）の2パターンに分かれるのではないかと、ということと、（2）居場所ラリーの参加者の年齢が高いため、区内限定型（ご近所訪問型）が圧倒的に多いのではないかと、という2つの仮説を念頭に分析を進めてきた。では、この仮説は確からしいのかを次に検討したい。

図表8にも示したように、居場所ラリー参加者の最も多かったパターンは、「区内ご近所訪問型」であった。ラリー参加者の平均年齢の72.12歳を考えると、ラリー時には近場にある複数の居場所を訪問するのではないかと考えるのは、常識的であろう。しかし、図表8のデータを見ると、それとは違う状況も見えてくる。実は、区内限定ではあるが「遠距離訪問型」も「区内ご近所訪問型」と同じぐらい数が多い。しかも、ご近所訪問型（図表8の第1象限と第2象限をたしたもの）は45名中22名、遠距離訪問型（図表8の第3象限と第4象限をたしたもの）は45名中23名になる。実は、高齢者が多いからご近所訪問型が単純に多いとは言えそうもないのである。この仮説については、次回の居場所ラリーの参加者のアンケートをとることで、その確からしさを再度チェックしたいと考えている。

以上のような、居場所ラリーの参加者 45 名の行動パターンを分析することから得られた結果は下記の通りである。

- 1) 居場所ラリーの参加者の行動パターンは、①「区内ご近所訪問型」、②「区内遠距離訪問型」、③「区横断ご近所訪問型」、④「区横断遠距離訪問型」の 4 つのパターンに分類することができる。

- 2) 居場所ラリーの参加者は、平均年齢が 72.12 歳であり、非常に年齢が高いため、灘区や東灘区限定で、近場の居場所を集中して訪問するパターン（区内ご近所訪問型）が多くなるのではないかという仮説を考えたが、遠距離訪問型といった他のパターンも多くみられたため、今回の調査では仮説のような結果は得られなかった。

4. 居場所ラリーの参加団体（受入団体）について

ここでは、東灘区と灘区で実際に居場所を運営しており、ラリーの参加者を受け入れた26団体の開催パターンについて説明・分析したい。分析にあたって、2つの軸で26団体を分類した。それが図表1である。なお、図表に示されている番号は、「居場所ラリーマップ図」に示されている個々の居場所の番号を意味している。

まず図表1の縦軸は、居場所を開催する場所の所有者を示しており、公的機関と民間団体という2つの軸でラリー参加団体を分類している。つまり、公的な機関が場所を所有し、居場所運営団体に貸与・委託しているパターンと、企業や個人などの民間団体が所有し、

図表1 居場所ラリー参加団体の開催パターン

開催回数 場の所有	月1回	月2回	週1回	週2～4回	週5回以上
公的機関	10.喫茶大石 さくら会	6.生き活サロン		12.灘・つど いの家(神戸 市が提供)	
	26.つどい場 コスモス				
民間	5.ユーフ° 喫茶 ろっこう	1.まんまる うサロン	4.守美の家 つどい	3.お元気カフェ ほおずき	2.お茶処花 たば
	8.ほっとスぺ ーすおうご	11.やかまし 村朝喫茶	14.「やえち ゃんち」	7.居空間 RoCoCo	13.ふらりカ フェ
	9.シモン	24.イチエ会サロ ンド°イチエ	15. Café Salon.Deai		23.東灘こども カフェ(こも れど)
	17.喫茶とき めき		16.コミュニティカ フェえがお		
	18.ランチタイムを ごいっしょ に／おちゃ にしません か		21.ぽっぽく らぶ		
	19.ピエ°喫茶		22.和ははひ ろば／ふれ あいサロン		
	20.生き生き ウキウキ健康カフェ		25.かえるの 会		

居場所運営団体に貸与しているパターン（この場合、個人で所有する物件を居場所として使っている場合も含む）を意味する。居場所ラリー参加 26 団体中 4 団体が、前者のパターンであり、残りの 22 団体が後者のパターンに分類できる。

次に図表 1 の横軸は、参加団体の居場所開催回数であり、視覚的に図表の左側は開催回数が少なく、右側に移るにしたがって、開催回数は増えてくる。この図表を見てもわかるように、月 1 回もしくは 2 回、居場所を開催し、活動している団体が 13 団体、週 1 回以上居場所を開催している団体が 13 団体と、参加団体が半々に分類されている。しかし、週 2 回以上居場所を開催している団体となると 6 団体（全体の約 23%）しかないことが分かり、今後は各団体の活動が活発に行われ、開催回数が図表の右側に移っていくこと（つまり、月 1 回開催の団体は月 2 回へ、月 2 回の開催団体は週 1 回へと開催回数を増やすこと）が、期待される。

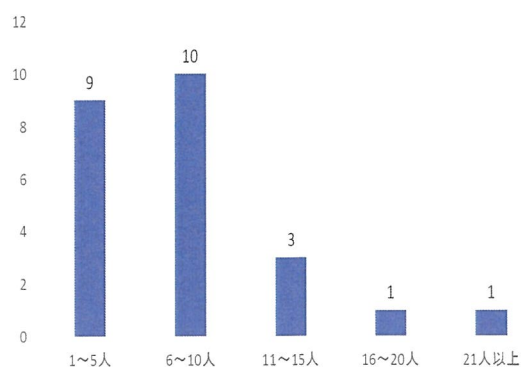
以上が、今回の居場所ラリーの参加団体の活動状況の分類・分析である。

5. 居場所ラリーの受け入れ団体へのアンケート結果

(1) 受け入れ団体の組織と通常の運営状況

今回の居場所ラリーの参加者を受け入れた 26 団体に組織構成や通常の運営状況をアンケートで質問したところ、24 団体から回答を得た（回収率 92.3%）。その集計結果を以下で見たい。

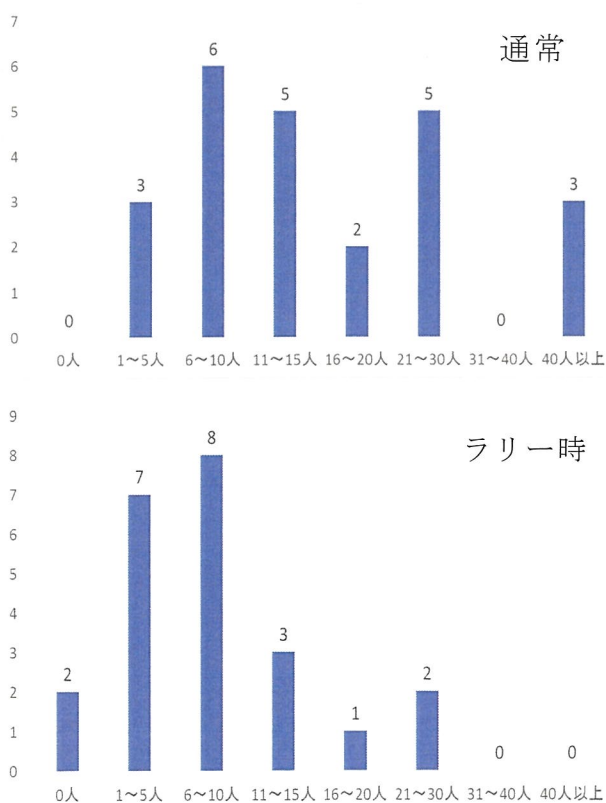
図表 1 受け入れ団体の運営スタッフ数



1) 参加団体の運営スタッフ数

日頃の運営スタッフ数を質問した結果、図表 1 のように「6 人～10 人」が 10 団体で最も多く、次いで「1～5 人」が 9 団体であった。

図表 2 受け入れ団体の利用者数（比較）

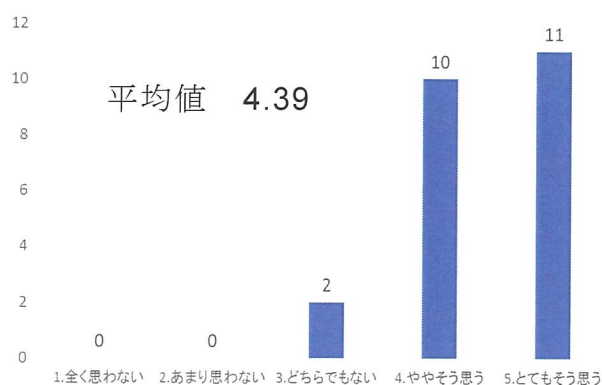


2) 「通常の利用者数」と「ラリー時の利用者数」比較

図表 2 は、「通常の利用者数」と「ラリー時の利用者数」したものである。通常でもラリー時でも、利用者数は 6～10 人が最も多い。上下を比較すると、ラリー時の利用者数が増加しているとは言えないことが分かる。むしろ、全体から見ると、通常時の利用者数の方が多結果となった。

(2) 居場所ラリー参加者の受け入れについての意見・感想

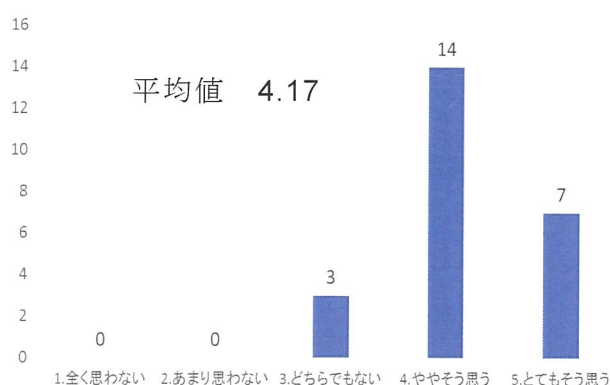
図表 3 居場所ラリー参加者を受け入れてよかったか



3) 受け入れてよかったか

「居場所ラリー参加者を受け入れてよかったですか？」の質問に対して、ほとんどの団体が「4. ややそう思う (10)」、「5. とてもそう思う (11)」と回答した。ほとんどすべての団体が受け入れてよかったと考えている (平均 4.39)。

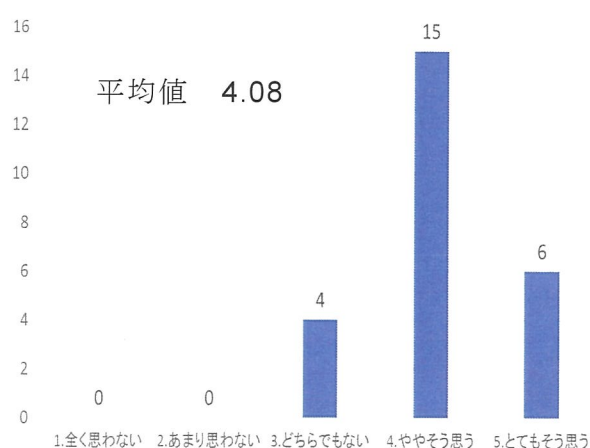
図表 4 ラリー参加者は貴団体の人たちと交流や話げできたか



4) ラリー参加者との交流

「ラリー参加者は貴団体の人たちと交流や話げができましたか」への回答では、図表4のように、平均が4.17となり、多くの団体が参加者と交流し話げができたと回答した。

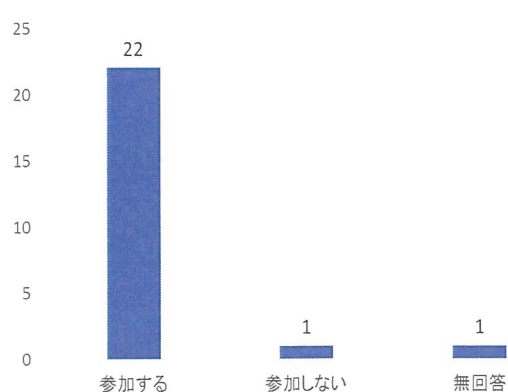
図表 5 居場所ラリーに参加して、広く貴団体をアピールできたか



5) 団体アピール

質問「居場所ラリーに参加して、広く貴団体をアピールできましたか？」への回答は、図表5のように平均4.08となった。多くの団体がアピールできたと回答している。

図表 6 次回、居場所ラリーがあれば、参加するか



6) 次回の居場所ラリーへの参加希望

質問「次回、居場所ラリーの開催があれば、協力団体として参加したいですか？」に対しては、図表6のようにほとんどすべての団体が「次回ラリーがあれば参加する」と回答している。次回への強い参加希望が存在している。

(3) 受け入れ団体の自由記述の整理

アンケートでは受け入れ団体に対して自由記述でラリー参加者を受け入れた感想・意見を尋ねた。その結果を整理して以下に記す。

1) 個々の居場所の PR 効果があった

- 団体のチラシを置いてもらうことができた点が良かった。
- 障がい者施設の中にある喫茶なので入りにくいところでもあるし、人通りの少ない場所なので知ってもらえてよかった。

2) 居場所への参加者増加のきっかけになった

- 男性の方がラリー用紙を片手に訪問してくださり意見を聞かせてくれました。
- 知らない方たちと知り合えたことは良かった
- 楽しくお互いに交流できました。また、こちらへも来ていただけましたので良かったです。ラリーがなければ思っただけでもなかなか参加できないですね。

3) 他の居場所を知るきっかけになった

- 前から行ってみたいと思っていた居場所に行く事ができた。
- 他の居場所の活動内容が理解できたことや自分自身も学ぶことができ、これからの居場所の運営にプラスになった
- 地域の活動を知ることができる。

4) 自団体の活動の改善へのきっかけになった

- 1回の開催ではお客様（利用者）に満足してもらえていないと思う。なので少しずつ形態を変えながら回数を増やしていきたい。
- 利用される方の目線を考えて、ボランティアの方や会員に協力していただくようにしたい。

- 私たちの居場所はどの駅からも遠い場所にあります。だから、地域以外の人たちの居場所というより地域内の人たちの居場所を目指すことが大切だと改めて思いました。

6. 居場所ラリーの受け入れ団体の満足度調査：ネット・プロモーター調査

今回の居場所ラリーの参加団体には、居場所ラリーに参加したことの満足度調査も行っている。居場所ラリーを行う際には、居場所の運営団体が多く参加することが不可欠となる。今回、居場所ラリーに参加した運営団体に、居場所ラリーに参加してよかったかどうかを、満足度調査と称して行ったわけである。

経営学やマーケティングの分野では、顧客満足度調査など、利用者や参加者の満足度を調査する場合によく使用されるのは5点法や7点法といった尺度であるが、本稿では、ネット・プロモーター調査という測定法を使って、居場所ラリーに参加した団体の満足度調査を行いたい。

ここでネット・プロモーター調査とは、「あなたが居場所ラリーを、友人や知人にすすめる可能性はどのくらいありますか（あなたは、居場所ラリーというイベントを、知人や同僚などにすすめたいですか）。下記の尺度に従って、10点満点で評価して下さい。」という質問に0点から10点までの尺度で回答してもらうアンケート調査の手法である（ネット・プロモーター調査については、フレッド・ライクヘルド,2006：フレッド・ライクヘルド＝ロブ・マーキー,2013を参照）。この調査では、評価点が10点に近いほど、評価対象となる活動や事業、あるいは製品やサービスの回答者の評価が、友人や知人に薦めるほど高く、評価者の満足度が高いことが分かる。

ネット・プロモーター調査では、10点評価のうち、9点と10点をつけた人を「推奨者（忠誠心の高い熱心な顧客）」、7点と8点をつけた人を「中立者（満足しているが、熱狂的でないので、他の製品やサービス、活動からの働きかけになびきやすい）」、6点以下をつけた人を「批判者（劣悪な関係を強いられた不満客。企業や組織にとって負の情報を流す可能性が高い人）」と位置づけている。そして、全体に占める推奨者の割合（推奨者の割合％）から全体に占める批判者の割合（批判者の割合％）を引くことでネット・プロモーター・スコア（NPS：推奨者の正味比率）を求めることを奨励している。米国の成長・優良企業（アマゾン、ハーレーダビッドソン、アップル、コストコ、デルコンピュータなど）で、NPSは50～80%、平均的企業だと5～10%だと言われている（フレッド・ライクヘルド,2006：フレッド・ライクヘルド＝ロブ・マーキー,2013）。

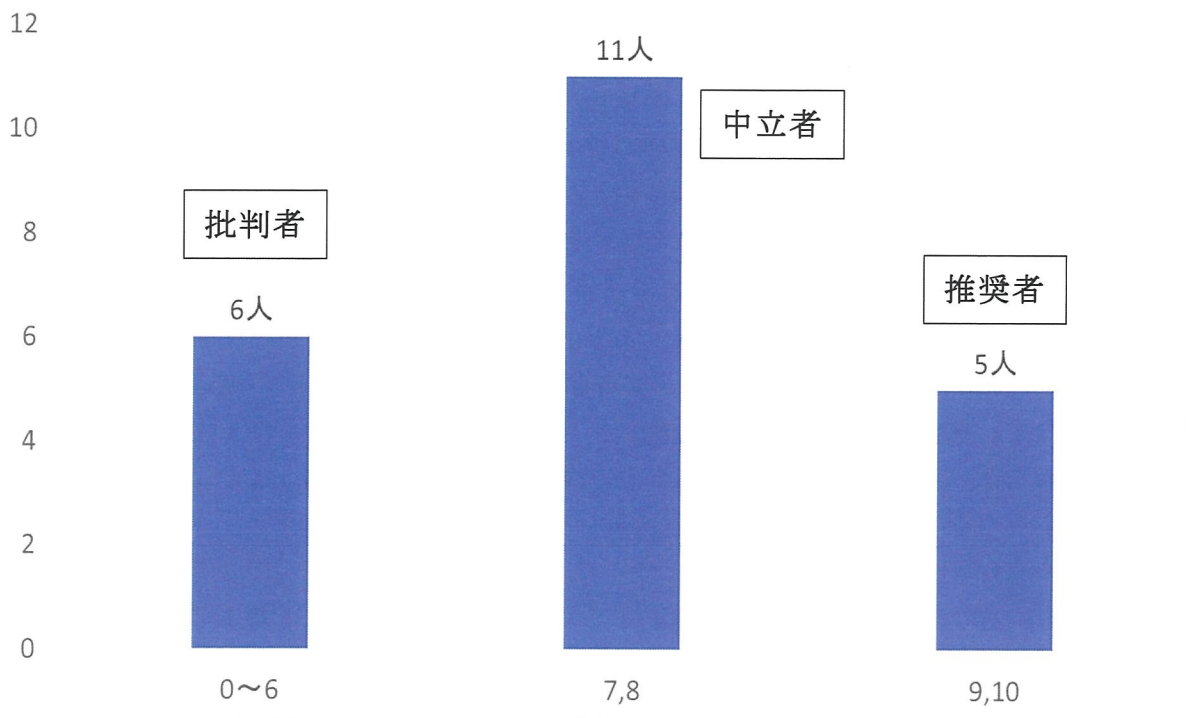
この調査法を活用して、居場所ラリーに参加した団体を対象に、居場所ラリーの満足度調査を行い、得た結果が図表1と図表2に他ならない。

まず図表1の棒グラフは、参加団体が評価した得点の分布を示している。それにも示されるように、9点もしくは10点と評価した推奨者が5人、7点もしくは8点と評価した中立者が11人、0点から6点と評価した批判者が6人であった。

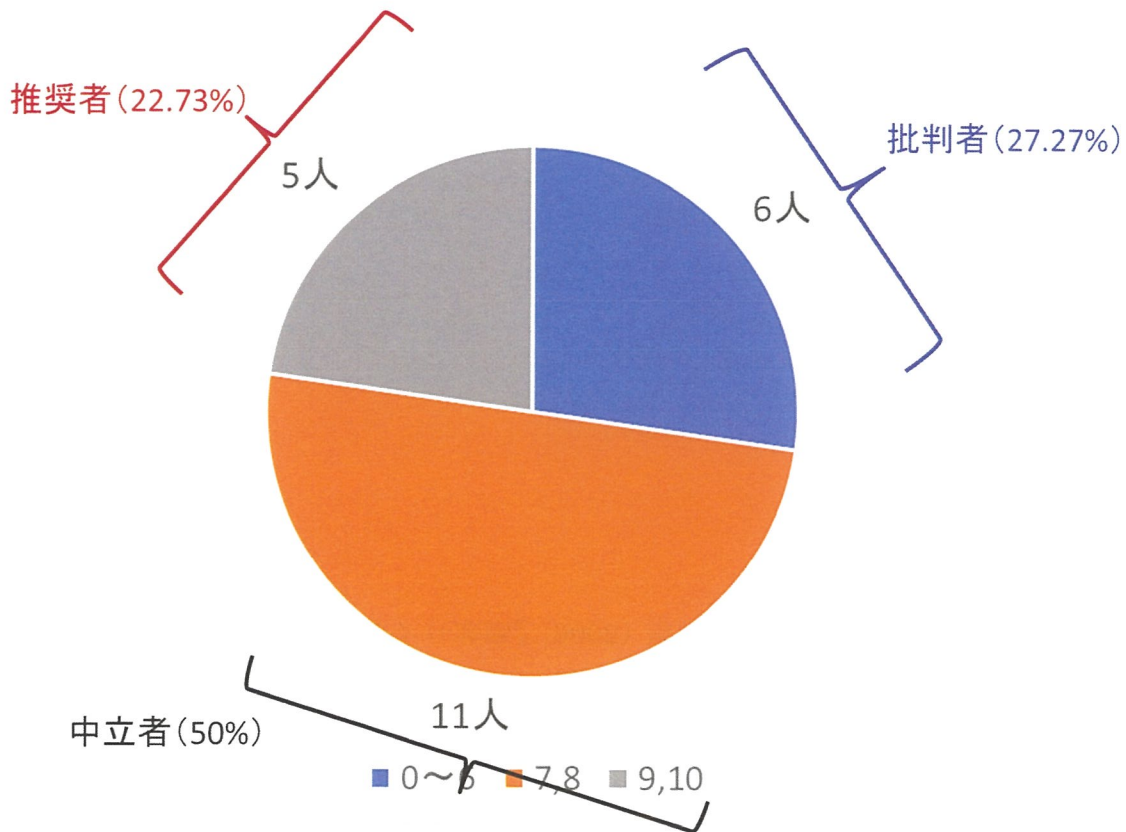
次に図表2の円グラフは、回答者全体に占める推奨者、中立者、批判者の割合を示している。それにも示されているように、推奨者の割合は22.73%、中立者の割合は50%、批判者の割合は27.27%となっている。

以上のデータを用いてNPSを算出すると、 $22.73\% - 27.27\% = -4.54\%$ となる。このデータだけを見ると、NPSはマイナスになっており、良い評価を得られているとは言えない。つまり、居場所ラリーの参加団体の居場所ラリーへの参加満足度はマイナスになっており、

図表1 居場所ラリーの参加団体の居場所ラリーの評価



図表2 居場所ラリーのネット・プロモーター調査による推奨者と中立者、批判者の分布



居場所ラリー自体に改善の余地があると考えていると分析することができる（ただし、改善点を述べて下さいという自由記述欄をみても、その原因や具体的な改善点は示されてい

なかった)。

ネット・プロモーター調査を日本企業に実際に活用した過去の事例を見てみると、NPSの点数は全般的に低くなる傾向があり、業界の優良大企業ですらNPSの値はプラスにならないことが非常に多いようである。その理由としては、①冷めた目で物事を観察しがちな日本人の特性、②たとえ、その製品やサービスがお気に入りでも、積極的に人に自慢したり薦めたりしない日本人気質、③往々にして真ん中(5点)を標準と見なす日本人の癖、という要因が考えられている(フレッド・ライクヘルド,2006:フレッド・ライクヘルド=ロブ・マーキー,2013)。

以上のような日本に特有の要因も考慮すると、ネット・プロモーター調査によって算出されたNPSの値がマイナスになったことは残念な結果であるが、1回の調査結果に一喜一憂することなく、次回の居場所ラリーの際にも継続的に測定することがまず重要である。そして、可能な限り推奨者を増やし、また中立者の評価を向上させ、さらに批判者の数を少なくするような改善策を検討し、実行することが、より良い居場所ラリーを創り上げていくことにつながるであろう。

近年、人口が減少し、少子高齢化が進展する地域社会において、居場所の役割の重要度は日に日に高まっている。その意味で、全国的に居場所づくりとその運営が盛んになっているが、居場所ラリーという形でのイベント的な要素も取り入れた事業は非常に希である。この居場所ラリーをより良い仕組みにし、全国的にも広め、居場所の活性化につなげていくためにも、次回開催の際にこの調査を続けたい。

参考文献

- ①フレッド・ライクヘルド著、鈴木泰雄訳(2006)『顧客ロイヤルティを知る究極の質問』武田ランダムハウスジャパン。
- ②フレッド・ライクヘルド=ロブ・マーキー著、渡部典子訳(2013)『ネット・プロモーター経営』プレジデント社。

7. 居場所ラリーの成果と課題

(1) 居場所ラリー参加者アンケートから見たラリーの成果

居場所ラリー参加者に対して行ったアンケート調査では、「ラリー参加への満足度」「ラリーへの再度の参加意欲」「居場所ラリーから学んだこと」について、1. 全く思わない、2. あまり思わない、3. どちらでもない、4. ややそう思う、5ととてもそう思う」の5段階で評価を求めた。

その結果、どの項目にも平均4.5以上の高い評価を得た。

また、「溶け込める雰囲気」「交流や話げできたか」という質問にも、7割以上の参加者が「はい」と回答した。

さらに、自由記述について見ても、個々の居場所に対する意見・感想として、好意的な感想が圧倒的に多かった（居場所ラリー参加者のアンケート分析を参照）。

- 楽しかった、また企画して欲しい
- コミュニケーション、交流が楽しかった
- いろいろな居場所を知る機会となったという感想もあった。

従って、居場所ラリー参加者はラリー参加に好意的で高い評価を示したと言える。

(2) 居場所ラリー受け入れ団体アンケートから見た居場所ラリーの成果

居場所ラリー参加者受け入れ団体に対する調査では、「受け入れてよかったか」「ラリー参加者と交流できたか」「団体アピールができたか」という質問に、1. 全く思わない、2. あまり思わない、3. どちらでもない、4. ややそう思う、5ととてもそう思う」の5段階で評価を求めた。

その結果、どの項目にも平均4以上の高い評価を得た。

また、「次回、居場所ラリーがあれば、参加するか」という質問にも 9割以上の団体が「参加する」と回答している。

さらに、自由記述について見ても、「よかった点」が多数記述されており、好意的な感想が得られた（居場所ラリー受け入れ団体のアンケート分析を参照）。

- 個々の居場所のPR効果があった
- 居場所への参加者増加のきっかけになった
- 他の居場所を知ることができた
- 自団体の活動の改善へのきっかけになった

従って、居場所ラリー受け入れ団体はラリー参加に好意的で高い評価を示したと言える。

(3) ラリー参加者から見た受け入れ団体への希望・意見

ラリー参加者から見た受け入れ団体への希望・意見としては次のものがあつた。

1) 男性の受け入れ方を考えてほしい

- 三カ所とも女性ばかりで男性の方でも集まりやすい雰囲気作りができないか
- お茶を出してもらったが、女性だけの教室みたいで申し訳なかった

2) 開催時間・日数を増やしてほしい

- 月に一度のところが多くもう少し時間がほしかった
- 行ける日や曜日に制限があるところがあるのでなかなか思うように行けませんでした

(4) ラリー参加者受け入れ団体からの意見・希望

今後のラリー実施に関わる意見や居場所ラリー改善への意見では次のようなものがあった。

- 開催時期に対してもっと早めに情報提供してほしい（10,11月なら8,9月中に資料を）（月1回だと手渡せる日が限られる）。
- 他の行事もあるので余裕ある時間が欲しいです。シール（貼付用）が不足しこちらで変わりのシールを貼りました。
- シールだけが目的の方もいたのでボランティアの方が戸惑うことがあった。ぜひ参加してもらって交流してもらえたらと思う。
- 月1回の開催なので2か月だけの期間だけでは来ていただくのが難しかったのかなと思います。
- パンフレットのカレンダーが少し見にくかった（地図とカレンダーの関係で）
- 地図はもっとわかりやすく区内だけで作っていただきたい。
- 一般の方々は居場所ラリーを知らない方が多い。広報の方法に改善が必要では？

(5) 居場所ラリー実施評価報告会での意見

2018年1月19日（金）に、居場所ラリー受け入れ団体（11団体）を招き、今回のラリー実施後の意見交換会を行った。そこで出た意見には次のようなものがあった。

- 連携のできるような居場所の掘り起こしが必要
- 新規の居場所の掘り起こしがしたい
- 情報発信の仕方として「居場所るるぶ」のようなものができたらいいのでは
- 居場所情報は全戸配付するなどの工夫をしてはどうか（10万～20万部）
- 「居場所」という言葉以外にいい言葉はないか？（居場所という言葉に、行くところがないから居場所、のようなイメージがある。例：つどい場 など）
- 受け入れ団体に、負担が多い部分を改善する
- 各居場所の活動内容、活動時間などの記載の仕方の工夫が必要（終了の少し前に来られるなど、対応が難しいことがあった。）
- 実施期間を3ヶ月にしてはどうか
- 花見などができる季節のいい時期に実施するのが良いのでは

(6) 今後の居場所ラリー調査の課題

1) 居場所ラリー参加者の行動パターン分析からの課題

居場所ラリー参加者がどのような動線・経路（行動パターン）でラリー時に動いているか、また、そこには何か共通するパターンはあるのかを明らかにする目的で、参加者の行動パターンを分析した。その結果、ラリー参加者の行動パターンは次の4つに分類するこ

とができた。

- ①「区内ご近所訪問型」パターン：灘区と東灘区の区内にある居場所のなかでも物理的に近接している居場所を訪問する行動パターン。
- ②「区内遠距離訪問型」パターン：灘区と東灘区の区内にある居場所のなかでも比較的離れている居場所を訪問する行動パターン。
- ③「区横断ご近所訪問型」パターン：灘区と東灘区の両方にある居場所のなかでも物理的に近接している居場所を訪問する行動パターン。
- ④「区横断遠距離訪問型」パターン：灘区と東灘区の両方にある居場所のなかでも比較的離れている居場所を訪問する行動パターン

今後は、この4パターンを元にして、実際の居場所参加者の行動パターンを詳細に探っていくことが課題となる。

2) 居場所ラリー参加団体の開催パターン分析からの課題

ラリー参加者を受け入れた26団体について、場の所有と開催回数の2つの軸から開催パターンの特徴を分析した。その結果、場の所有については、①公的な機関が場所を所有し、居場所運営団体に貸与・委託しているパターンと、②企業や個人などの民間団体が所有し、居場所運営団体に貸与しているパターンに分かれる。居場所ラリー参加26団体中4団体が、①のパターンであり、残りの22団体が②のパターンに分類できる。

また、開催回数から見ると、月1回もしくは2回、居場所を開催し、活動している団体が13団体ある。その一方で、週2回以上居場所を開催している団体となると6団体（全体の約23%）しかないことが分かった。

今後は開催回数を増やす（たとえば、月1回開催の団体は月2回へ、月2回の開催団体は週1回へと開催回数を増やす）ためにはどのような取り組みや支援が必要か、調査することが期待される。

3) 「ネット・プロモーター調査」分析からの課題

居場所ラリー参加者を受け入れた団体の満足度を知るために、「ネット・プロモーター調査」という測定法を使って調査を実施した。その結果、この測定方法で標準的な評価得点「ネット・プロモーター・スコア（NPS：推奨者の正味比率）」を見ると、NPSは-4.54%となる。このデータだけを見ると、NPSはマイナスで、受け入れ団体が高い満足を得られたとは言えない。

しかし、そもそもネット・プロモーター調査がアメリカで開発された測定法のため、日本の文化や日本人の評価行動とはずれが生じる可能性もある。そのため、今回の調査結果だけから評価を下すのではなく、今後の居場所ラリーの際にも継続的に測定し、長期的なデータ集積から評価を考えたい。

V. 居場所ラリーの今後の方向性について

1. 居場所が目標とするもの

本報告書の「はじめに」でも指摘したように、都市直下型の震災であった阪神淡路大震災の後、急激な高齢少子化の影響を受けて、地域における人のつながりが急速に希薄化している。かつて人々は、家族（血縁）、会社（社縁）、地域（地縁）といった中間集団がつくる「縁」を通じて社会と関わりを持ち、つながっていたのである。しかし、現在、家族も会社も地域も大きく変化し、「縁」が消失し無縁化している。社会が無縁社会化したことで、社会的に排除される人が急増している。

こうした地域課題の解決への重要なツールとして、居場所づくりが注目されているのである。多くの市民団体や中間支援 NPO も地域での居場所の消失に危機感を募らせ、各所で居場所を展開する試みが始まっている。

地域住民にとっては、どこで誰がどのような居場所を開催しているのか、まとまった情報が必要である。また、現在居場所を運営している人やこれから居場所づくりに取り組みたい人たちにとっても、居場所の情報を共有し、それぞれの居場所の活動成果や課題を共有することで、さらに良い居場所運営にもつながるのではないだろうか。

居場所を地域のプラットフォームとし、新たな市民層の参加を促しながら、誰かと誰かがつながっている状態を創出することが重要である。特に社会的な所属を持たない社会的に孤立した人たち、高齢者、子育て中の親、仕事に就きにくい若者、障害を抱えた人々などを社会的に包摂し、地域社会ではぐれることがないよう、一旦所属する場を提供するような役割を居場所が担いたい。

このような目標を念頭に置きながら、今回居場所ラリーを行うことで、居場所の活性化と拡大のための課題が見えて来た。ここでそれらを列挙しておきたい。

2. 交流型居場所の活性化

「交流型居場所」とは、地域の人たちが交流、団らんして、行くことを楽しみにするような居場所である。趣味活動のグループなどによる自己実現をめざした居場所が、交流型居場所にあたる。

現在、交流型居場所は、行政主導による地域福祉センターでの開催や、民間主導の双方で行われているが、居場所の開催回数が月 1 回程度の場合が圧倒的に多い。しかし、地域の人たちの交流を促進していくためには、今後は月 1 回から月 2 回開催へと開催回数を増やしていく必要があると考えている。

また、従来の行政主導型と民間型の居場所間の交流によって、居場所自体の活動の活性化も考えられるだろう。今回実施した居場所ラリーといったイベントは、この 2 つのタイプの居場所間の交流のきっかけとなり、今後の交流事業の展開が促進されると考えられる。

さらに、居場所に集まる人たちが交流することだけにとどまらず、地域の見守りや介護予防など、地域の課題発見や課題解決へ居場所機能を拡大することも重要であり、今後の課題でもある。

3. 展開型居場所の量的拡大

「展開型居場所」は、地域の課題解決の機能を重視した「交流型居場所」の発展したタイプであり、その数は、現在はまだ少ない。今後、中間支援の NPO 法人側の意見とすれば、1 行政区に 20 箇所（当面、神戸市補助該当数）程度を目標に開設することを目指したい。

「展開型居場所」を開設するための展開モデルのマニュアル化も、今後必要となるであろう。このモデルでは、「集う→参画する→解決する」の段階に応じた事業内容が盛り込まれている。

また、「展開型居場所」は、最低でも週 1 回開催をめざし、地域の生活支援サービスの実施を行う拠点となることを目指したい。このような形態の居場所を増やしていくために、現在の「あんしんすこやかセンター」や「ユースカフェ」、「子育て系カフェ」などとの連携を強化し、共生的な居場所づくりを検討することも重要である。

4. 実現にむけた取り組みや考え方

上述した交流型居場所の活性化や展開型居場所の量的拡大といった 2 つの課題を実現することは決して容易なことではない。それゆえ、その実現にむけては、しっかりとした考え方と取り組みが必要不可欠となる。

この 2 つの課題を実現するための取り組みを、ここでは経営計画の手法であるバランス・スコアカードの 4 つの視点を活用して考えてみたい。バランス・スコアカードとは、組織の将来構想（ビジョン）を実現するために、①学習と成長の視点（組織メンバー（職員）の確保、継続的勤務年数の向上、組織メンバーの能力向上のための研修、組織力向上のための研修やミーティングの実施等に関わる視点）、②業務プロセスの視点（既存の仕事の進め方の標準化や効率アップ、新しい事業やサービスの開発、事業の PR や組織の運営などに関わる視点）、③顧客の視点（製品やサービスの利用者・顧客の満足度やリピート率向上に関わる視点）、④財務の視点（事業活動進めていくうえで不可欠な資金の獲得などに関わる視点）といった 4 つの視点から、組織の今後の取り組み、活動を計画にまとめていく手法である（詳細については、ロバート・キャプラン＝デビット・ノートン,2011 を参照）。

以下では、バランス・スコアカードの 4 つの視点を活用した今後の取り組みをまとめていこう。

（1）学習と成長の視点

- 1) 運営者（コーディネーター）に資質向上に向けた研修の実施
- 2) 現在、効果的な活動を実践している居場所の「ケース検討会議」等の定期的な実施
- 3) ソーシャル・インクルージョンの視点を持つ研修の実施

居場所が単に顔見知り同士の「お楽しみ会」のレベルを超え、地域の課題解決を目指す居場所の必要性について、運営者が理解を深めていく必要がある。特に、地域の中で排除された社会的弱者を包摂する（ソーシャル・インクルージョン）ことを理念にした学習が必要である。

- 4) 空き家、空き店舗の情報提供や補助施策を利用した研修の実施

地域には埋もれた資源が存在している。空き家、空き店舗を使った居場所を拡大するため、空き家、空き店舗情報の収集や利用方法に関する研修が必要である。

(2) 業務プロセスの改善の視点

1) プログラムの工夫

居場所の参加者には貴重な経験・知識・ネットワークを有する人々がいる。それらの参加者の持つ特技を引き出す取り組みが必要である。

2) 参加者を「お客化」しないで、当事者とする関係づくりが重要である。

現在、居場所に関する情報発信が不十分である。そこでたとえば「区別居場所ニュースの発行」などが考えられる。

3) NPO 法人等が発刊する地域情報誌との連携

神戸市には定期的に地域情報誌を発刊している NPO 法人がある。この情報誌を効果的に活用して、東灘区や灘区で居場所を運営している団体や活動の情報を、地域の人たちに居場所や活動情報を届け、利用者数の増加や居場所間の交流を進めることを検討したい。

(3) 顧客の視点

交流型居場所の活性化や展開型居場所の量的拡大といった 2 つの課題（テーマ）から見た場合、居場所の参加者や居場所運営団体、企業等が顧客として考えられる。この点からの今後の取り組みを考えると、以下のことがあげられる。

1) 居場所の発展のための居場所間のネットワークの形成

2) 今後、居場所交流ラリーの定例化によりネットワークの拡充

3) 居場所利用者に対する情報提供の手段として、紙媒体だけでなく、IT 活用によって開催状況を知らせるアプリの開発など、SNS やインターネットを使った情報提供が必要。

4) 企業との連携工夫も必要不可欠。ネスレやロックフィールドといった居場所づくりに関心のある企業との連携を強化する。

(4) 財務の視点

1) 民間設立型の居場所の経営・運営基盤を整備・強化するために行政からの支援を呼びかける。

神戸市が展開している「ふれあいまちづくり事業」と同等の補助金・助成金を得ることができないか。この点を神戸市に粘り強く訴え、交渉していく。

2) 健康等新しい共通プログラムで企業賛助を得る

参考文献

- ・ロバート・キャプラン＝デビッド・ノートン(2011)『バランス・スコアカード(新訳版)』生産性出版。

VI. 報告書執筆者一覧

・兵庫県立大学 政策科学研究所

教授 野津隆志 (Ⅳの1、2、5、7、Ⅴ)

教授 當間克雄 (Ⅳの3、4、6、Ⅴ)

・認定 NPO 法人コミュニティ・サポートセンター神戸

理事長 中村順子 (Ⅱ、Ⅴ)

事務局長 飛田敦子 (Ⅳの4.)

居場所ラリー担当 森恭子 (Ⅲ)

居場所ラリーアンケート調査 資料

気になる居場所を訪れ、
シールを集める!



「秋の居場所めぐり」とは

近年、多様な人々が交流し、自分の役割を見つけることができる「地域の居場所」が増えてきました。みなさんは、行きつけの「居場所」がありますか?ときには、ちよつと他の居場所にも寄ってみたいなあ、と思ったりしませんか?でも、いつ、どこでやっているのかもよくわからないし、行きにくいですよね。そこで、「秋の居場所めぐり」では、10月・11月の2ヶ月間をラリー期間として、「気になる居場所を訪れ、シールを集める!」(3ヶ所めぐれば、最後に景品がもらえます!)というラリーゲームを企画しました。東灘・灘区で26カ所の居場所が対象です。ぜひ、この機会に、お友達と、お散歩がてらマップを片手に、わかまちの居場所をおとずれてみてくださいね!!

主催：認定NPO法人コミュニケーション・サポートセンター神戸 (CS神戸)
協力：ネスエ日本株式会社
兵庫県立大学政策科学研究所 NPO 研究連携センター
後援：神戸市

【平成29年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業の一環で実施しています。】

2017年10月

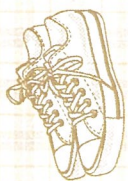
日	月	火	水	木	金	土
1	(2)10(12) (13)15(22)23(26)	(2)12 (13)16(23)25	(1)2 (22)23	(2)3(4)7(8)12 (13)14(21)23	(2)7 (13)23	(12) (13)19(23)
8	(9) (13)15(23)	(2)6(12) (13)16(23)25	(2)3 (22)23	(2)4(7)11(12) (13)14(21)23	(2)3(7) (13)23	(12) (13)23
15	(2)12 (13)15(22)23	(2)12 (13)16(17)18(23)25	(1)2 (22)23(24)	(2)7(12) (13)14(21)23	(2)3(7) (13)23	(12) (13)23
22	(2)12 (13)15(22)23	(2)6(12) (13)16(18)23(25)	(2)3 (22)23	(2)7(11)12 (13)14(21)23	(2)3(5)7 (13)23	(12) (13)20(23)
29	(2)12 (13)15(22)23)	(2)4(12) (13)16(23)25)				

カレンダー

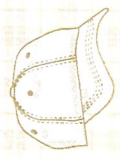
以下の番号は、中面のマップに対応しています。

2017年11月

日	月	火	水	木	金	土
			(1)2 (22)23	(2)3(4)7(8)12 (13)14(21)23	(13)23	(12) (13)23
5	(2)12 (13)15(22)23(26)	(2)12 (13)16(19)23(25)	(2)3 (22)23	(2)4(7)11(12) (13)14(21)23	(2)3(7) (13)23	(12) (13)23
12	(2)9(10)12 (13)15(22)23)	(2)6(12) (13)16(23)25)	(1)2 (22)23(24)	(2)7(12) (13)14(21)23	(2)3(7) (13)23	(12) (13)23
19	(2)12 (13)15(22)23)	(2)12 (13)16(17)18(23)25)	(2)3 (22)23	(11) (13)21(23)	(2)3(5)7 (13)23	(12) (13)20(23)
26	(2)12 (13)15(22)23)	(2)4(6)12 (13)16(18)23(25)	(2) (22)23	(2)7(12) (13)14(21)23)		



贈り物



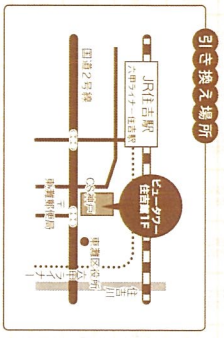
【11月1日～1021日】開催期間
1日1時～10時 11月1021日 10時～11時

ピルマール・リーグの秋の居場所めぐり



秋の居場所めぐり・ラリーマップ

【主催・問合せ】
認定NPO法人
コミュニケーション・サポートセンター神戸 (CS神戸)
〒650-0002 神戸市東灘区住吉東町5-2-2 ビュータワー1住吉南104
Tel.078-841-0310 / fax.078-841-0312
✉ ibasho@cskobe.com (土・日・祝はお休み)
http://www.cskobe.com



(画面上部) われらCS神戸
わがまちの居場所をめぐり、シールを集めよう!

氏名: _____

住所: _____

〒: _____

電話番号: _____

メールアドレス: _____

1. 気になる居場所を訪れ、シールを集める!
2. 3ヶ所めぐれば、最後に景品がもらえます!
3. ラリー期間中に、お友達と散歩がてらお散歩をしよう!
4. われらCS神戸の居場所をめぐり、シールを集めよう!
5. ラリー期間中に、お友達と散歩がてらお散歩をしよう!

居場所めぐりの楽しみかた

📍 開催日 📅 活動内容 / 利用料金 📍 場所 📞 問い合わせ先 連絡先 📍 最寄駅・バス停

① まんまるうサロン

📍 第1・3水 13:00~16:00
 📍 喫茶、フリートーク、卓球、運動、たた、ゲーム、クイズ / 200円
 📍 神戸市灘区北灘9-3-20
 ☎️ 090-3351-7360(仮章) | tom5 | 112@yahoo.co.jp(和佳)
 📍 阪急王子公園駅南へ徒歩8分、市バス100系統「灘北」1分

② お茶処 花たば

📍 毎月月～金 10:00～16:00
 📍 喫茶、食事(昼) / コーヒー・紅茶 100円、ランチ600円
 📍 神戸市灘区本道通6-7-14
 ☎️ 078-801-6632
 📍 阪急王子公園駅(南側)東へ徒歩1分

③ お元氣カフェほおずき

📍 喫茶(第2・4金14:00~16:00、手芸(第3金13:30~16:00) 囲碁(第2・4木13:30~16:00)、脳いきいき(第1木14:00~16:00)
 📍 神戸市灘区篠原南町6-1-10
 ☎️ 078-801-6503(東神戸医療福祉活動推進委員会 篠原支部大石川診療所)
 📍 市バス92、100、102系統「水道筋1丁目」より徒歩5分

④ 守美の家つどい

📍 第1木(普通、めだかの学校)、第2木(手芸)、最終火(つどい) いずれも13:30~15:30
 📍 神戸市灘区下河原通2丁目3-4
 ☎️ 078-861-0338(大谷)
 📍 市バス100・102系統「琵琶町3丁目」阪神バス「河原」 JR六甲通南へ徒歩10分

⑤ コープ喫茶ろっこう

📍 第4金14:00~15:30
 📍 喫茶 / 100円
 📍 神戸市灘区森後町3-5-38(コープ六甲3階)
 ☎️ 078-412-7850(コープこうほう第3地区活動本部)
 📍 JR六甲通北へ徒歩5分、阪急六甲南へ徒歩5分

⑥ 生き活サロン

📍 第2・4火 14:00~15:30
 📍 喫茶、おしゃべり / 100円(お茶付き)
 📍 神戸市灘区深田町4-1-39(メイメン六甲4F)
 ☎️ 078-857-3022 | ikigai@skobe.com
 📍 JR六甲通駅南側直結

⑦ 居空間RoCoCo

📍 毎月水・金(木)10:30~15:00 / 金12:00~15:00
 📍 昼食、喫茶、その他(月も講座あり(事前問い合わせ必要)) / 300円
 📍 神戸市灘区山田町3-1-1(神戸学生青年センター)
 ☎️ 070-5346-6550 | roccoco.kobe@gmail.com
 📍 阪急六甲駅北へ徒歩5分

⑧ ほっとスペース おうご

📍 第1木 13:00~15:30
 📍 喫茶 / 100円~200円
 📍 神戸市灘区八幡町2丁目2-3
 ☎️ 078-841-6175(森中)
 📍 神戸市バス16・18・36・2系統「六甲口」 JR六甲通/阪急六甲より徒歩5分

⑨ シナモン

📍 第2月 14:00~15:30 📍 喫茶、歌 / 100円
 📍 神戸市灘区鶴甲4-7-2(コープ鶴甲集会所)
 ☎️ 078-412-7850(コープこうほう第3地区活動本部)
 📍 市バス36系統「鶴甲3丁目」

⑩ 喫茶大石さくら会

📍 第2月 10:00~12:00(10月は第1月に振替え)
 📍 喫茶 / 200円
 📍 神戸市灘区大石東町1-21(大石東町第3Fたらん室)
 ☎️ 090-3621-0929(赤江)
 📍 阪神新在家駅(南側)西へ徒歩5分

⑬ ふらりカフェ

📍 毎週月・火・水・金・土 10:00~17:00
 📍 ふれあい喫茶、ふれあいランチ、趣味の講座
 📍 ランチ500円(コーヒー、コーヒー100円、介護予防ランチ300円 各種カキチャー300円~700円(いずれも要予約))
 📍 神戸市東灘区御影6-15-17(仮寄附法人東灘地域福祉会(ネットウケ))
 ☎️ 078-843-4029 | info@hnr.or.jp
 📍 阪神御影駅より徒歩2分

⑬ コミュニティカフェ えがお

📍 毎週火 10:30~15:30
 📍 喫茶、その他(もとやま園特製クッキーの販売)
 📍 100円(飲み物+クッキー)
 📍 神戸市東灘区西岡本4丁目17-1(慶重者施設「南岡の苑もとやま園」)
 ☎️ 078-857-5088 | info@wa-kyodo.org
 📍 JR住吉駅より北へ徒歩13分(住吉川沿い)

⑱ ロビー喫茶

📍 毎月1回7日、13:30~15:30
 📍 ふれあい喫茶 / 100円
 📍 神戸市東灘区田中町15-3-18(生活文化センター内)
 ☎️ 078-412-7850(コープこうほう第3地区活動本部)
 📍 JR住吉駅東へ徒歩10分

⑳ 生き生きウキウキ健康カフェ

📍 最終土曜日 14:30~16:00
 📍 喫茶、健康講座、健康体操 / 無料
 📍 神戸市東灘区甲南町4-11-10(すまやんデザイナービル内)
 ☎️ 078-411-6631(杉田整形外科)
 📍 阪神バス「甲南本通」

㉑ ぽっぽくらぶ

📍 毎週水 10:00~16:00
 📍 喫茶、運動、おしゃべり / 200円(飲み物、お菓子付き)
 📍 神戸市東灘区魚崎北町4丁目3-15(はじめてのいっぽ内)
 ☎️ 078-451-3359
 📍 市バス35系統「魚崎北町7丁目」

㉒ 和ははひろば/ふれあいサロン

📍 和ははひろば(毎週月):14:00~16:30
 📍 ふれあいサロン(毎週水):13:30~15:00 / 100円
 📍 健康体操、喫茶、手芸、クッキングなど
 📍 神戸市東灘区魚崎北町6-9-18
 ☎️ 078-802-3424(さくらこ医療生活協同組合)
 📍 阪神バス「甲南本通」より徒歩3分

㉓ 東灘こどもカフェ(こもれど)

📍 毎日 10:00~18:00
 📍 喫茶、食事(昼)、趣味、ものづくり、講座、運動、あそび場、その他
 📍 昼食弁当500円、講座については要予約のうえ実費
 📍 神戸市東灘区甲南町3-7-14(城野ビル1F)
 ☎️ 090-7701-6393 | foryou@view.ocn.ne.jp
 📍 JR東灘本山駅南へ徒歩10分、阪神バス「甲南本通、市バス34系統「甲南市場」

㉔ イチエ工会 サロン・ド・イチエ

📍 第3水、第2日 11:00~15:00
 📍 喫茶、食事(昼)、趣味、ものづくり
 📍 200円、ランチ実費(第2日)
 📍 神戸市東灘区本山南町9丁目8-36(サンハイツ本山509)
 ☎️ 090-6734-4408 | JR東灘本山駅南へ徒歩5分

㉕ かえるの会

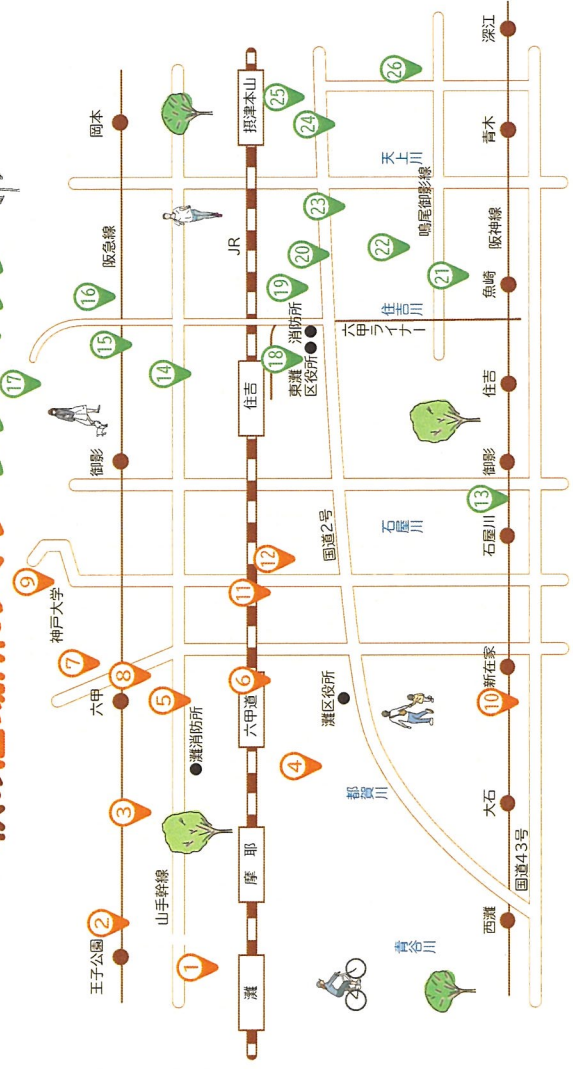
📍 毎週水 14:00~15:00
 📍 喫茶、運動、あそび場、その他(計算、音読教材の学習)
 📍 300円
 📍 神戸市東灘区本山中町4-2-3(ユニビル3F)
 ☎️ 090-3035-1199 | 阪神バス「市バス43系統「小路」

㉖ つどい場コスモス

📍 第1月 13:00~15:00
 📍 喫茶 / 100円
 📍 神戸市東灘区本山南町2-12-8号棟 1F集会所
 ☎️ 070-5666-6749
 📍 市バス43系統「本山南町3丁目」すぐ、37系統「深田」



秋の居場所めぐり・ラリーマップ



*主な駅名、道路のみを記載しています。詳細は、各居場所もしくは主催者までお問合せください。

⑭ 「やえちゃんち」

📍 毎週水(第5水は「やえちゃんち」で開席) 14:00~16:00
 📍 おしゃべり(スペシャルの日はいイベントも) / 100円
 📍 神戸市東灘区住吉本町1丁目24-27(神戸メッセビル1F(東灘区))
 ☎️ 078-385-0530(村上)
 📍 JR住吉駅徒歩7分(有馬商店街北出口東口)

⑮ Café. Salon. Deai

📍 毎週月 9:00~15:00
 📍 喫茶、食事(昼)、その他(曜日別講座あり(事前問い合わせ必要))
 📍 コーヒー・紅茶 300円 手作りシフォンケーキセット500円
 📍 ランチ(デザートドリンク別)800円 ※ランチは予約制(曜日、12時まで)
 📍 神戸市東灘区住吉本町3-3-30
 ☎️ 078-857-4676 | cafeow901@kcc.zaq.ne.jp
 📍 阪急御影駅(南側)東へ徒歩8分

⑯ ランチタイムをいっしょに / おちやにしませんか

📍 第3火 11:30~15:00 (ランチタイムをいっしょに)
 📍 第4火 13:30~15:30 (おちやにしませんか)
 📍 喫茶、食事(昼) / 200円(ランチ)、300円(喫茶)
 📍 神戸市東灘区住吉東2-2-2 ビュータワー住吉館内
 ☎️ 078-451-3359 | JR住吉駅東へ徒歩5分

⑰ 喫茶ときめき

📍 第3火 13:30~15:00
 📍 ふれあい喫茶 / 100円
 📍 神戸市東灘区湊森2-1-4(コープ湊森組合員集会所)
 ☎️ 078-412-7850(コープこうほう第3地区活動本部)
 📍 市バス31、38系統「湊森2丁目」

⑱ 漁つどいの家

📍 毎週月・火・水 9:30~13:30
 📍 喫茶、趣味、講座 / コーヒー・紅茶お菓子付100円
 📍 神戸市灘区大和町3-1-20
 ☎️ 078-842-4507 | tsudoito@juno.ocn.ne.jp
 📍 市バス36、16系統「徳井」

⑳ やかまし村朝喫茶

📍 第2・4木 7:00~8:00
 📍 喫茶、食事(朝) / 100~200円
 📍 神戸市灘区大和町4-5-25(フアウイング六甲)
 ☎️ 078-762-8810
 📍 JR六甲通から徒歩15分、市バス92系統「石屋川車庫前」

㉑ 居空間RoCoCo

📍 毎月水・金(木)10:30~15:00 / 金12:00~15:00
 📍 昼食、喫茶、その他(月も講座あり(事前問い合わせ必要)) / 300円
 📍 神戸市灘区山田町3-1-1(神戸学生青年センター)
 ☎️ 070-5346-6550 | roccoco.kobe@gmail.com
 📍 阪急六甲駅北へ徒歩5分

㉒ ほっとスペース おうご

📍 第1木 13:00~15:30
 📍 喫茶 / 100円~200円
 📍 神戸市灘区八幡町2丁目2-3
 ☎️ 078-841-6175(森中)
 📍 神戸市バス16・18・36・2系統「六甲口」 JR六甲通/阪急六甲より徒歩5分

居場所ラリー参加者アンケート

このアンケートは、今後の事業の運営の参考にするために行うものです。
お答え頂いた個別の情報をそのまま使ったり、外部に出ることはありませんのでご回答に協力をお願いします。

【1】性別をお聞かせください。をしてください。 男 女

【2】年齢をお聞かせください。（ 歳）

【3】あなたが住んでいる場所はどこですか、をしてください。 東灘区 灘区 それ以外

居場所ラリーに参加して、どうでしたか、該当する覽に○マルをしてください

質問	とても 思う	ややそ う思う	どちら でもない	あまり 思わ ない	全く 思 わ ない
1 居場所ラリーに参加してよかったですか？	5	4	3	2	1
2 居場所ラリーがまたあったら、参加したいと思いますか？	5	4	3	2	1
3 実際に行った居場所にもう一度行ってみたいと思いますか？	5	4	3	2	1
4 居場所ラリーに参加して、何か得たことはありましたか？	5	4	3	2	1

今回の居場所ラリーで、訪問された居場所について伺います。どこの居場所に行かれましたか？

5 1ヶ所目：居場所名（ <input type="text"/> ）					
5-1 新しい人でもすぐ溶け込める雰囲気はありましたか？		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> どちらでもない			
5-2 いろいろな人と交流や話ができましたか？ (感想)		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> どちらでもない			
6 2ヶ所目：居場所名（ <input type="text"/> ）					
6-1 新しい人でもすぐ溶け込める雰囲気はありましたか？		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> どちらでもない			
6-2 いろいろな人と交流や話ができましたか？ (感想)		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> どちらでもない			
7 3ヶ所目：居場所名（ <input type="text"/> ）					
7-1 新しい人でもすぐ溶け込める雰囲気はありましたか？		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> どちらでもない			
7-2 いろいろな人と交流や話ができましたか？ (感想)		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> どちらでもない			

8 居場所ラリーに参加して一番印象に残った事や改善した方がよい点はなんですか？自由にお答えください。

9 その他、気づいたことやご要望など、なんでもご自由にお答えください。

